

シンポジウム 顔写真で行動を検索できる 社会をどうするか

— 便利ならプライバシーはいらない? —

日時 2022年(令和4年)2月16日(水)17:30~20:00

場所 Zoomウェビナー ※事前登録制

参加費 無料(どなたでも御参加いただけます。)

昨年9月には、鉄道事業者が、指名手配犯の顔認証データベースをもとに、不特定多数の利用客に照合検索をかける顔認証システムを利用し始めたと報道されました。

警察や、マイナンバーカードを使用する行政機関や民間などによる顔認証システムの運用は広がっていますが、便利に人の行動を検索できる技術を使い続けても問題はないでしょうか。

デジタル社会が本格化するこれからの時代、どうやったらプライバシーを守ることができるのか、是非一緒に考えましょう。

【プログラム(予定)】

■ 基調報告「当連合会の取組の報告(仮)」

報告者: 瀧田 和秀 弁護士 (日弁連情報問題対策委員会委員)

■ 基調講演「静かなる監視社会～中国デジタル革命の実相と民主主義の行方」

講師: 倉澤 治雄 氏 (科学ジャーナリスト)

■ パネルディスカッション

「顔認証技術は、どうルール化されるべきか。」

パネリスト

山本 龍彦 氏 (慶應義塾大学大学院法務研究科教授)

若江 雅子 氏 (読売新聞編集委員)

倉澤 治雄 氏 (科学ジャーナリスト)

コーディネーター

武藤 糾明 弁護士 (日弁連情報問題対策委員会副委員長)

以下のリンクまたは二次元バーコードからお申し込みください。申込期限内にお申し込みいただいた方にZoomウェビナーの開催情報をお知らせします。

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/kaoninsympo/2022/>

なお、誠に勝手ながら、事前申込者数が定員に達し次第、申込みの受付を終了いたしますので、その旨、ご了承ください。



【注意事項】

当日、何らかの理由で通信が中断し、復旧困難となった場合には、やむを得ずシンポジウムを中止する可能性があります。また、PC環境・通信状況等の不具合については日弁連では責任を負わず、またサポート対応等も行いかねますので、予めご了承ください。

お問い合わせ先 日本弁護士連合会法制第一課 電話 03-3580-9978 / F A X 03-3580-9899

日本弁護士連合会では、シンポジウムの内容を記録し、また、成果普及に利用するため、シンポジウムの様子の録音等を行っております。録音等した内容は、日本弁護士連合会の会員向けの書籍のほか、日本弁護士連合会のホームページ、パンフレット、一般向けの書籍等にも使用させていただくことがあります。参加者個人での録音・録画・キャプチャーなどを利用した記録や二次使用は固くお断り申し上げます。